

2016年度 決算のご説明

(2016年4月1日～2017年3月31日)

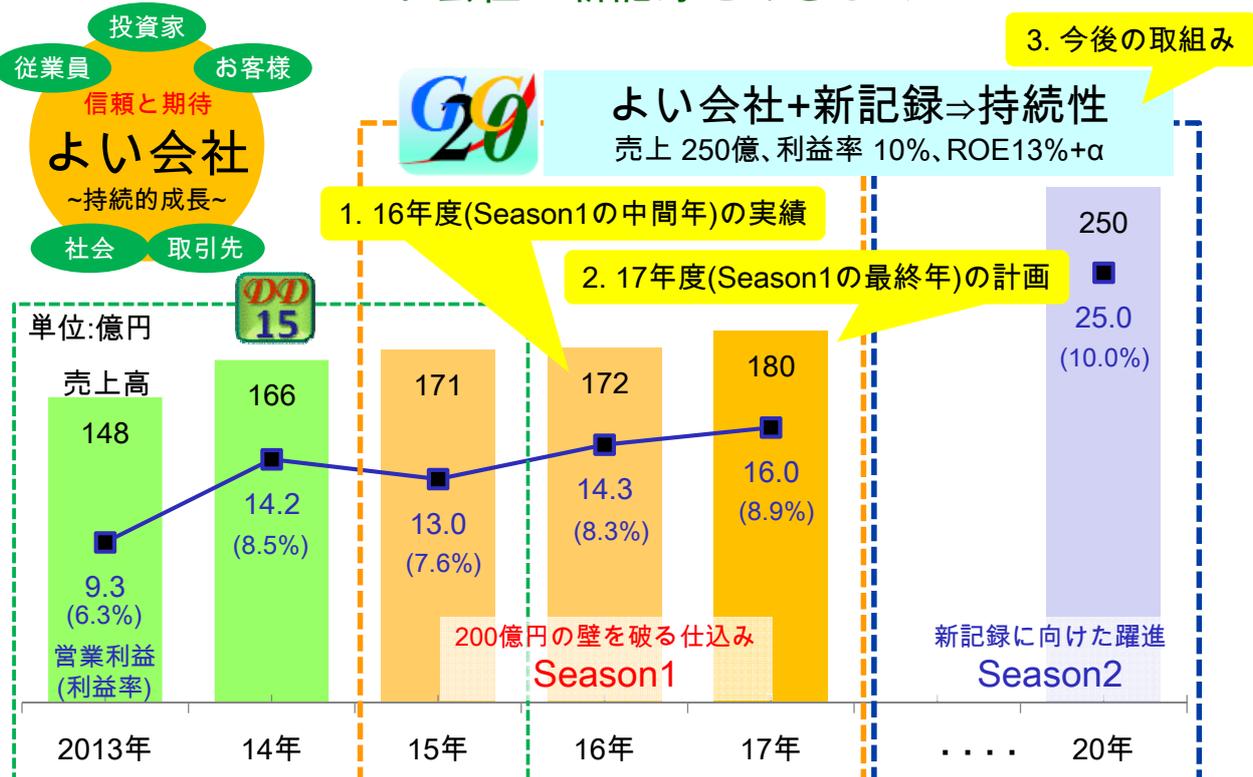
- I. 2016年度 決算概要
- II. 2017年度計画
- III. 今後の取組み

2017年5月11日
 本多通信工業株式会社
 代表取締役社長 佐谷 紳一郎

Value by Connecting **HTK**

中期計画“GC20”と本日のご説明

よい会社 + 新記録をめざして



Value by Connecting **HTK**



I. 2016年度 決算概要

売上・営業利益はITバブル崩壊(2001年)以降で最高
 純利益は上場来最高を達成
 GC20の完遂に向けた仕込みは道半ば

Value by Connecting **HTK**



1. 通期業績

前年比12円の円高の中、増収増益
 配当=26円(期初計画通り)+自己株式取得

ITバブル以降
最高

売上高... 業績予想、前年ともにクリア

ITバブル以降
最高

営業利益... 体質強化により2桁増益

上場来最高

当期純利益... 繰延税金資産の計上で予想比1.5倍

()内利益率

単位:百万円

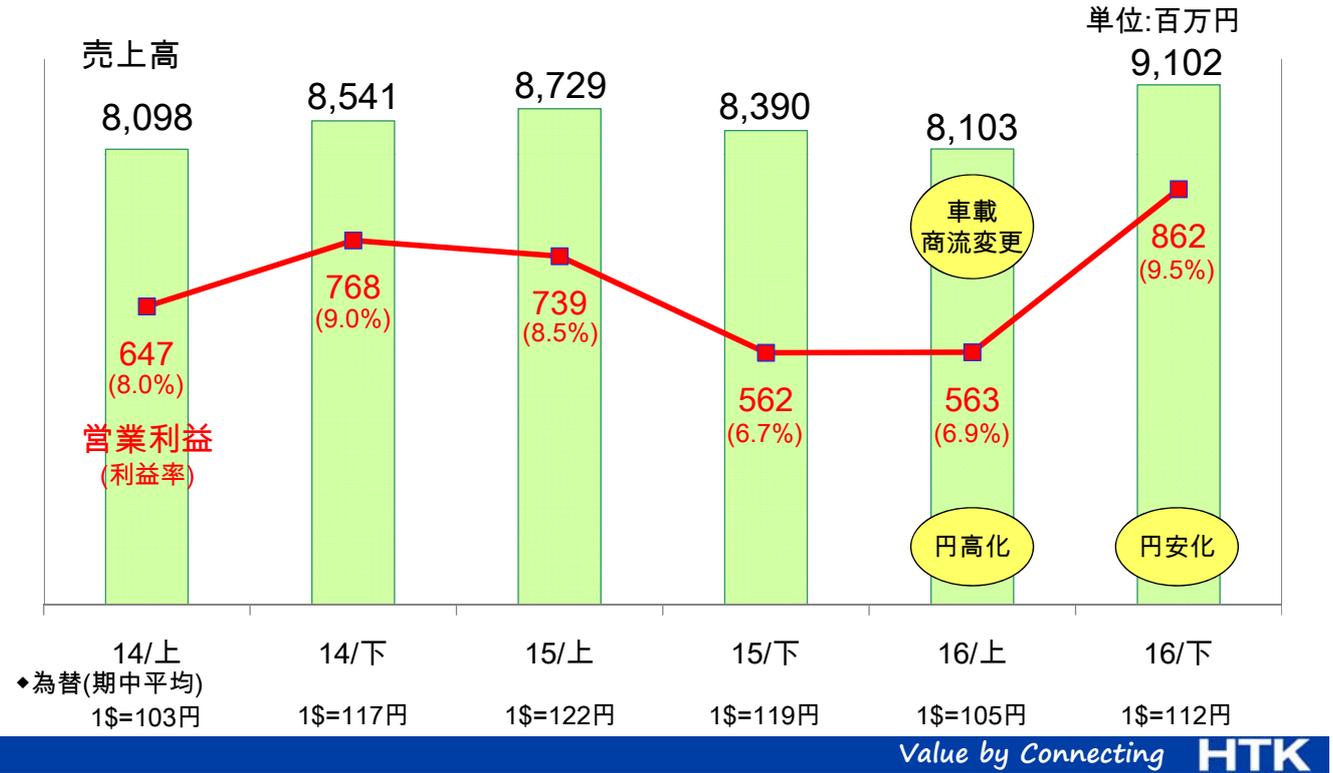
為替(円/\$) 期中平均/期末日	15年度 120円/113円	16年度 108円/113円	前年比	修正 予想比	10/28 修正予想
売上高	17,119	17,205	101%	101%	17,000
営業利益	1,301 (7.6%)	1,425 (8.3%)	110%	124%	1,150 (6.8%)
経常利益	1,237 (7.2%)	1,476 (8.6%)	119%	134%	1,100 (6.5%)
当期純利益	1,364 (8.0%)	1,542 (9.0%)	113%	154%	1,000 (5.9%)

Value by Connecting **HTK**



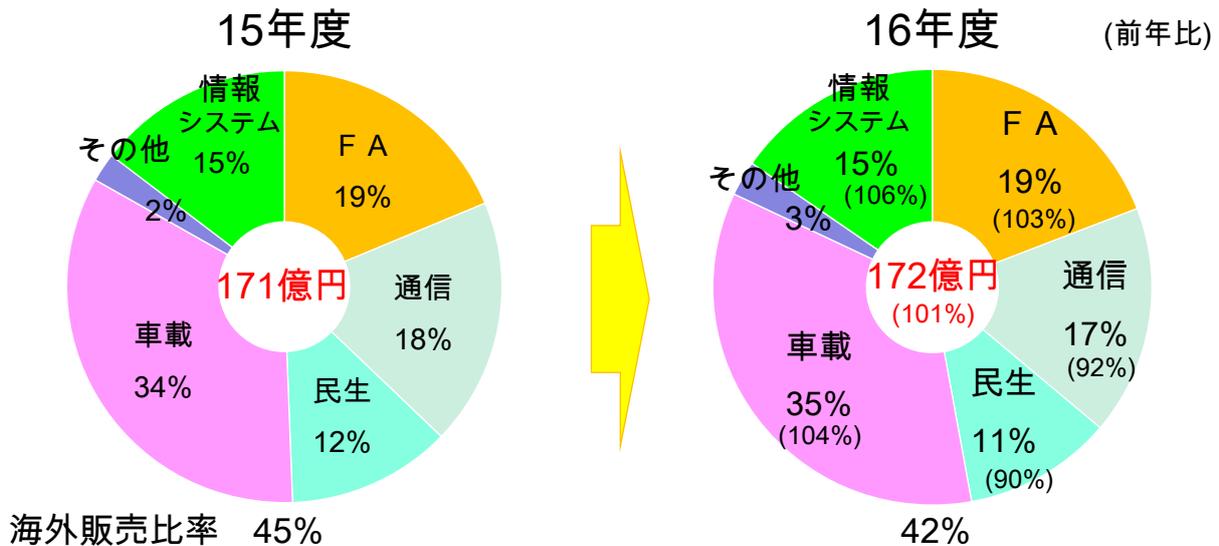
2.半期業績推移

上期は円高化+車載用コネクタの商流変更で低調
 下期は円安化+FA分野の回復で反転→大波賞



3.分野別売上

車載が実質2桁成長を継続、情報システムも着実に事業拡大



FA:下期から本格回復し、通期増収
 通信:下期FTTH伸長も上期不調を補えず
 民生:リオ特需の反動で対前年1割減

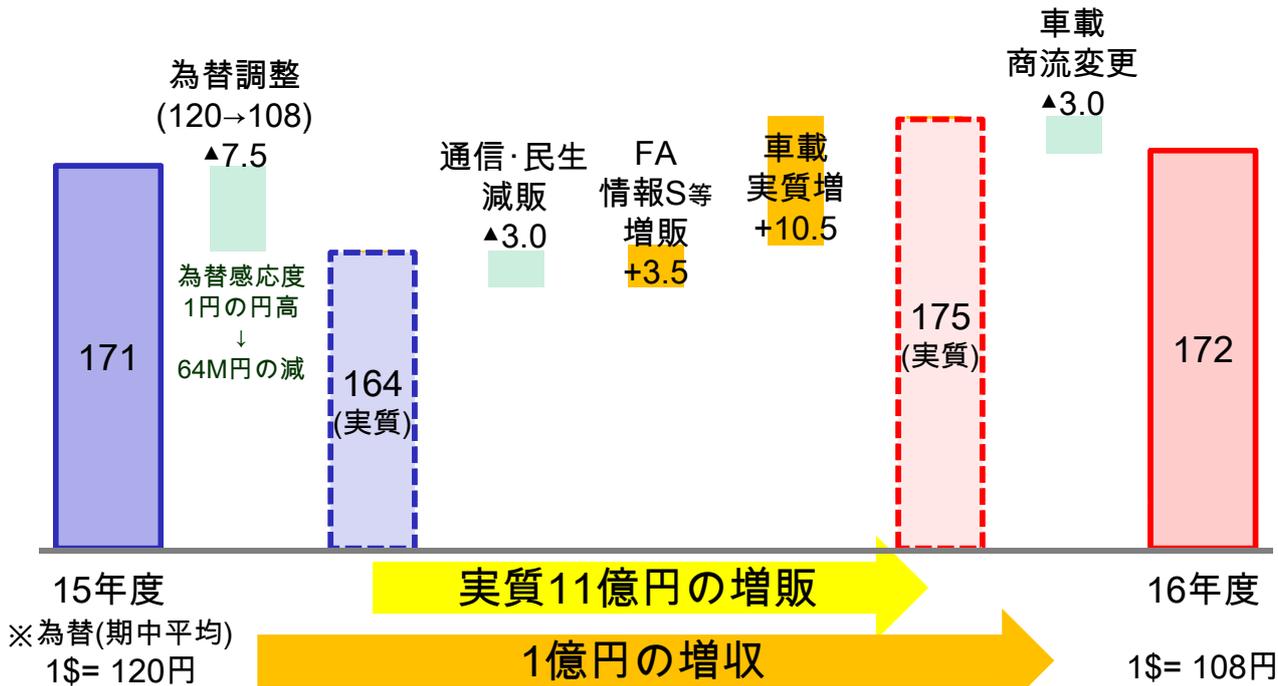
車載:車載カメラ用で続伸
 実質2桁成長、年間1,000万個生産
 情報:新たな運用系+大型案件で増収



4-1. 売上高の対前年増減

円高/車載の商流変更の押し下げ要因を除けば
 実質11億円(6.7%)の増販

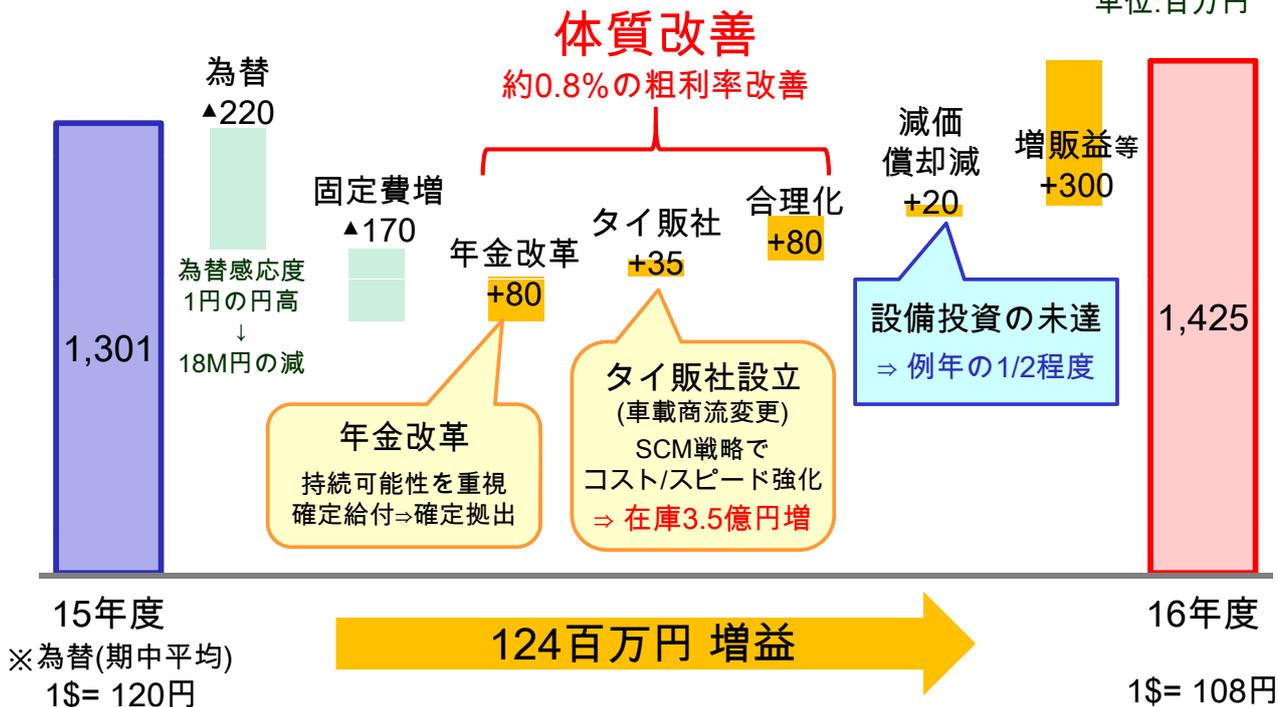
単位:億円



4-2. 営業利益の対前年増減

円高の影響/固定費増を増販/体質改善で吸収し、増益

単位:百万円

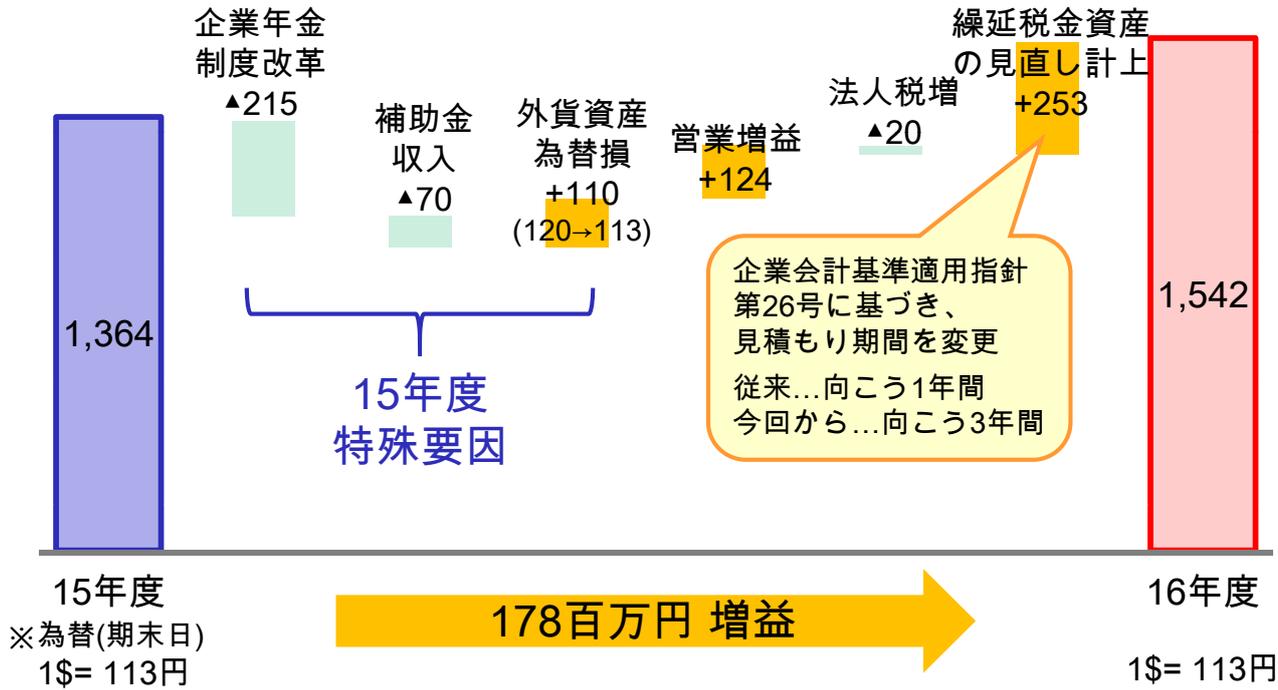




4-3. 当期純利益の対前年増減

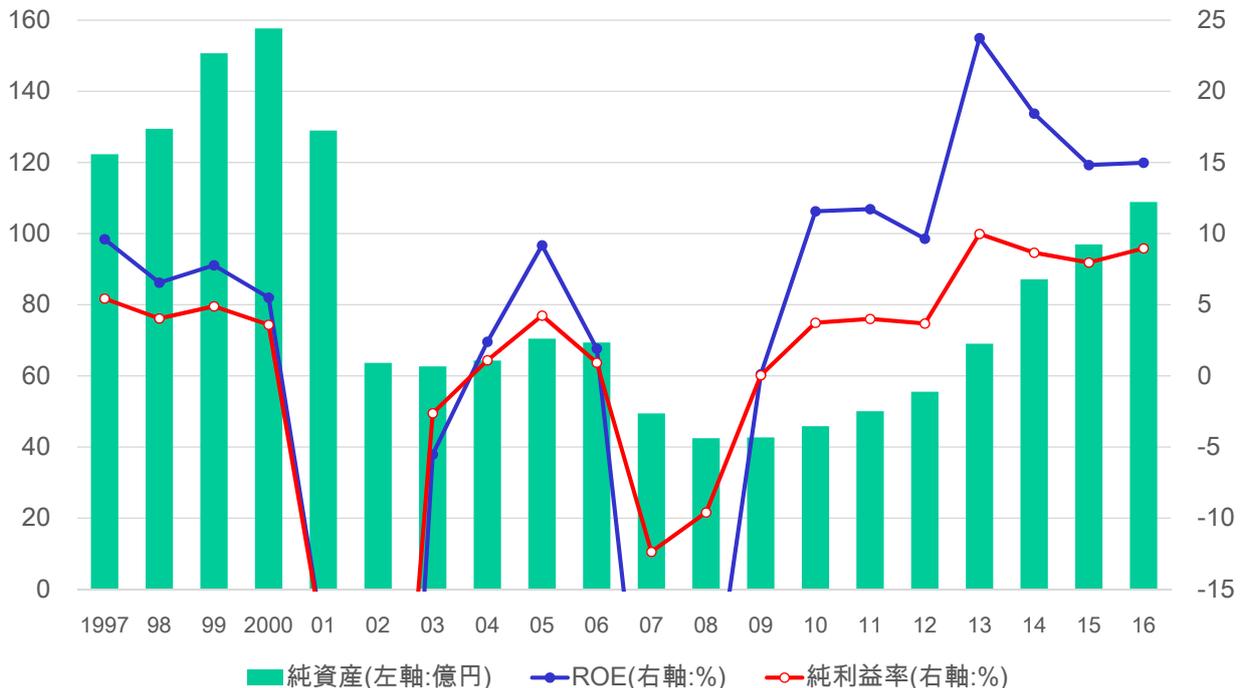
繰延税金資産の見直し計上(2.5億円増)により、1.8億円の増益

単位:百万円



4-4. ROE等の推移

純資産が2001年度以来、15年ぶりに100億円超へ
2010年度よりROE⇒>10%を継続



II. 2017年度計画

中期計画“GC20”Season1の最終年
5%増収、12%営業増益を狙う



1. 分野別の見通し

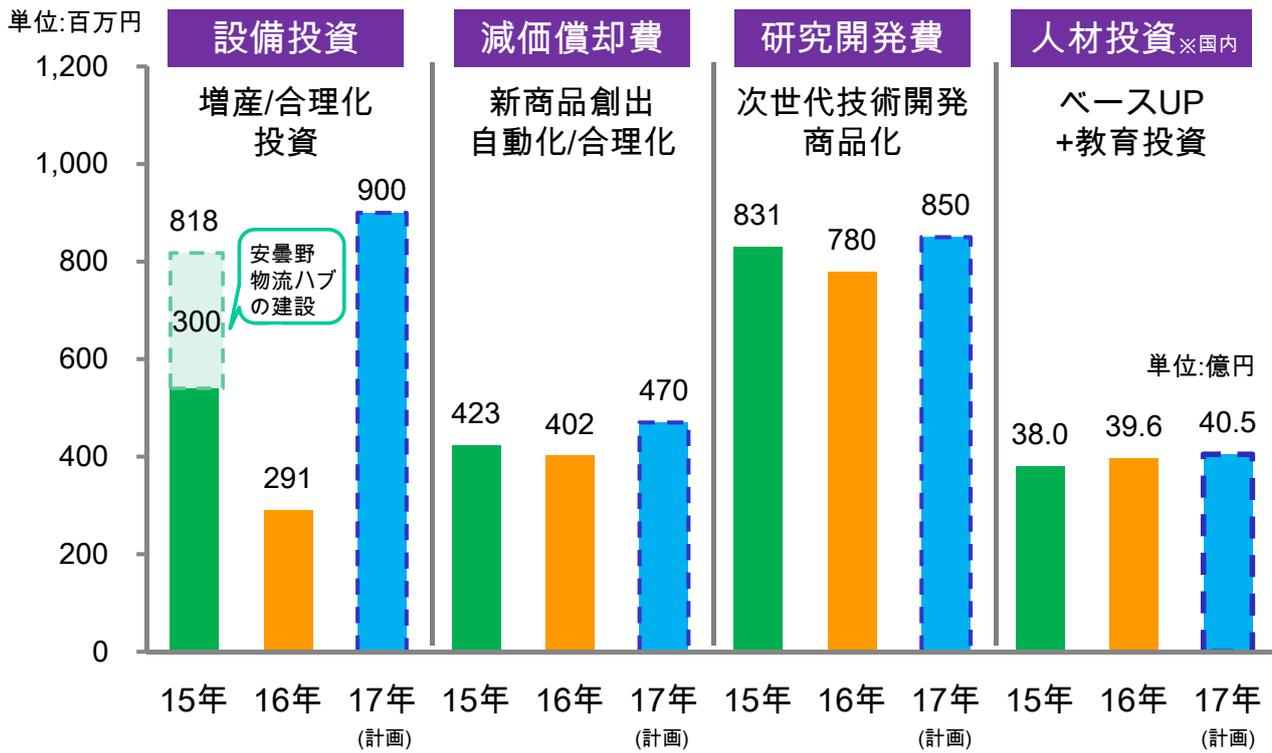
車載/FA/情報システムの続伸を見込む





2.投資等の計画

設備/人材等への投資を拡大



3. 2017年度業績予想

当初計画(売上200億円、9%営業利益)には未達
増収増益を予測、9期連続増配の27円を計画

単位:百万円

	16年度 (利益率)	17年度 通期計画	前年比	備考
売上高	17,205	18,000	105%	+ FA/車載/情報システムの増販
営業利益	1,425 (8.3%)	1,600 (8.9%)	112%	+ 増販益/合理化/生産性向上 ▲ 設備/人材等への投資拡大による費用増
経常利益	1,476 (8.6%)	1,500 (8.3%)	102%	▲ 外貨資産の目減り
当期利益	1,542 (9.0%)	1,100 (6.1%)	71%	▲ 前期の繰延税金資産の見直し計上の反動 ▲ 実効税率のアップ

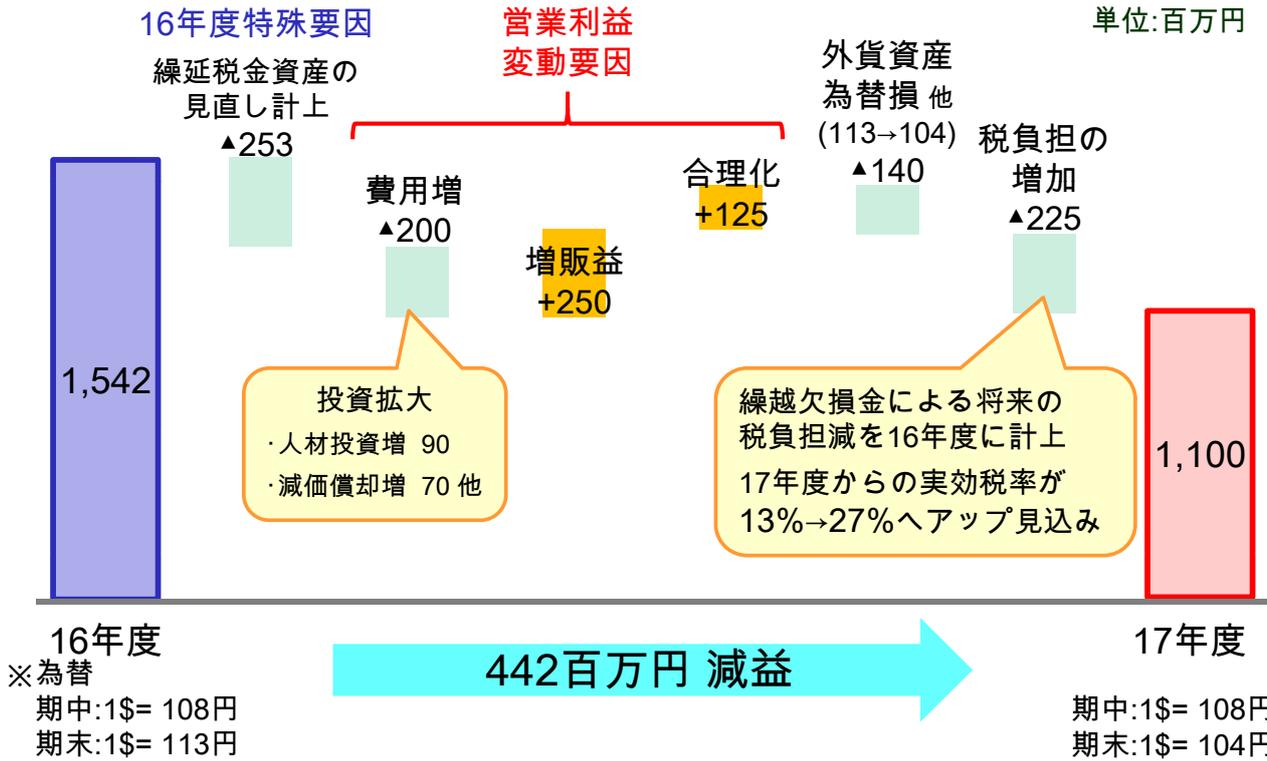
※為替 期中: 1\$=108円 1\$=108円
 期末: 1\$=113円 1\$=104円



4. 当期純利益の見込み

実効税率アップにより約30%減益

単位:百万円



III. 今後の取組み

成長力改革と働き方改革

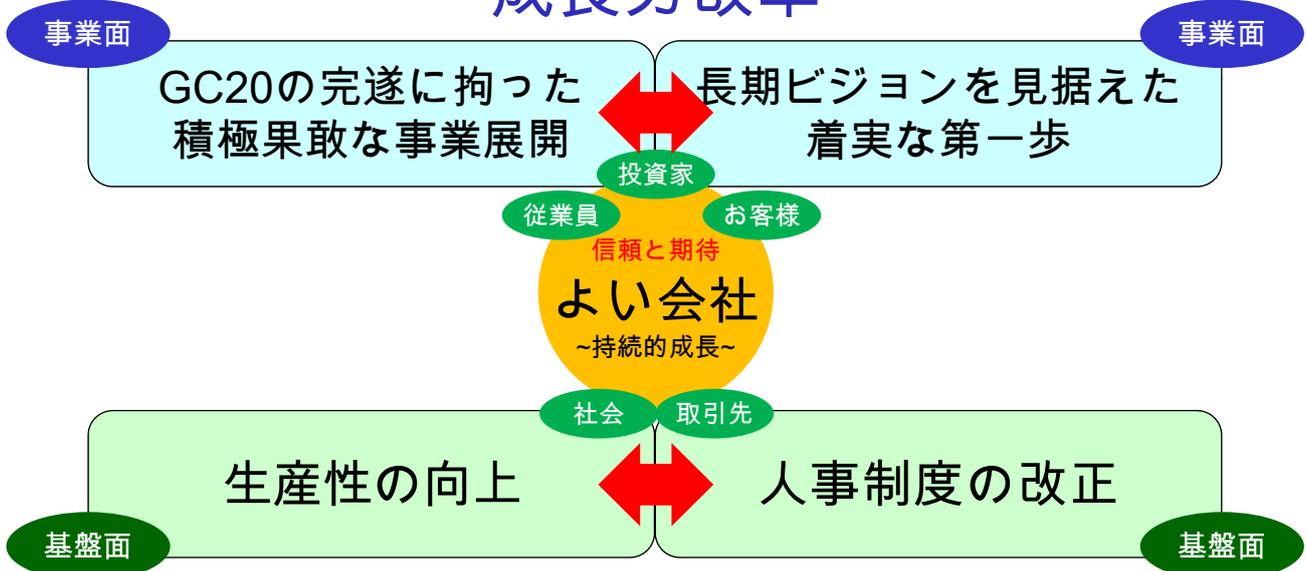




1. 2017年度 基本方針

“よい会社”=持続的成長ができる会社に向けて
事業/基盤の両面で仕込みを積極展開

成長力改革



2. 創業100周年に向けた長期ビジョン

収益の源泉を“モノづくり”から“コトづくり”へ転換



“コアコンピタンス”を磨き上げる

- 業務用 : 多品種少量ノウハウを極め『サービス事業』へ
- 車載用 : 長期信頼性を深化させ『モビリティ全体』へ
- 情報S : 3つのSeg1を持つ『特長あるインテグレータ』へ



3-1.業務用コネクタの成長力改革

多品種少量ものづくりを極め、サービス事業へ



2017年度 投資 4.0億円

- ・ 長期供給保証に向けた基盤構築
- ・ 少量効率生産への省人化/合理化投資
- ・ 8K対応アクティブ光コネクタの商品化

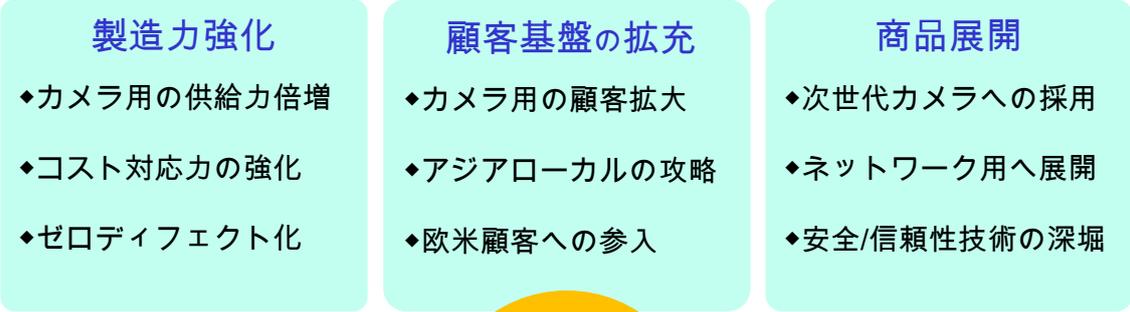
少量短納期サービス拡充 物流ハブの建設

・1weekデリバリー(1000品目へ)
 ・2week/ハーネス開始



3-2.車載用コネクタの成長力改革

得意の信頼性技術の深化でモビリティ全体へ



2017年度 投資 4.5億円

- ・ 自動化&新製造拠点の設立
- ・ 新商品開発(イーサネット用など)
- ・ 品質モニタリングシステムの導入

ASEAN事業体制を確立 (タイ販社設立・ラオス製造) デジタル商品(高速タイプ)の開発

カメラ用 車内ネットワーク用



3-3.情報システムの成長力改革

3つの分野をSeg1(ニッチ№1)化し、10%利益体質へ



高付加価値なソリューションを提供
14年度=5.2%→16年度=6.4%
(営業利益率)

2017年度 投資 0.5億円

- ・ 現SEの新技术習得
- ・ 積極的な新人/キャリア採用
- ・ 働き方改革...残業上限の設定等



4.働き方改革への取組み

“よい会社”=持続的成長ができる会社に向けて
人事制度改革と生産性向上の両輪を回す



公平とコスト中立が原則

- ◆長時間労働対策
 - ・ 残業時間の上限設定
 - ・ 勤務間インターバルの導入
- ◆多様なニーズ対応
 - ・ 育児休職制度の多様化
 - ・ 時間単位有休制度の導入
- ◆レガシー制度の見直し
 - ・ 配偶者手当→子供手当へ
 - ・ 年金制度をDB→DCへ...etc.



軽量/高回転の体質へ

- ◆設備/基盤面
 - ・ IoT/AI/ロボットの積極導入
 - ・ アウトソーシングの活用
- ◆プロセス面
 - ・ 業務フローの見直し・改善
 - ・ デジタル業務改革
- ◆人材面
 - 15年⇒16年⇒17年
 - ・ 新卒採用を拡大(24名⇒26名⇒31名)
 - ・ 教育投資を拡大(20M⇒40M⇒60M)



5-1.株主還元:方針の改定

株主還元の充実を目的に、
基本方針を“総還元性向=30%”に変更

◆ 2015年度～

2020年度での配当性向30%に向けて、
段階的に増配を実施



◆ 変更後 ※2017年4月27日リリース

- ・ 総還元性向30%を基本とする
- ・ 2020年度に向けて段階的に増配する
- ・ 業績見通しの変動等により、配当性向 < 25%と見込まれる場合に自己株式取得を検討する

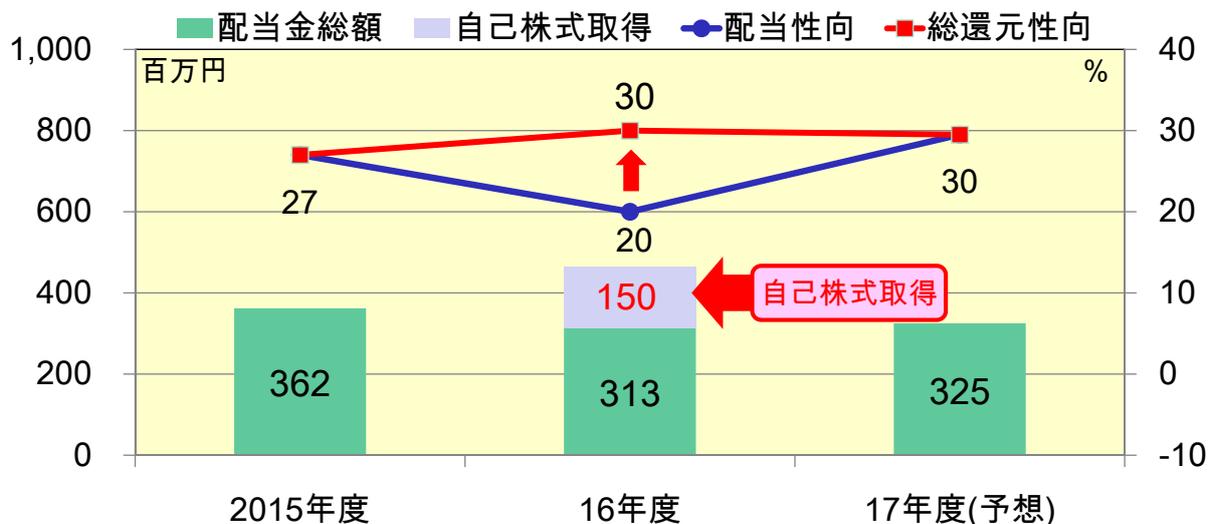
Value by Connecting **HTK**



5-2.株主還元:今回実施内容

総還元性向30%に向けて、1.5億円の自己株式を取得

※4/27 リリース



当期純利益	1,364百万円	1,542百万円	1,100百万円
配当額	25+5円	26円	27円
配当性向	27%	20%	30%

Value by Connecting **HTK**



6.コーポレートガバナンスの進化

最適なコーポレートガバナンスを追求

1. 社外取締役2名体制へ

今年開催の定時株主総会にて、新たに花澤 隆氏を社外取締役として選任予定です。これにより、独立社外取締役は2名体制となります。

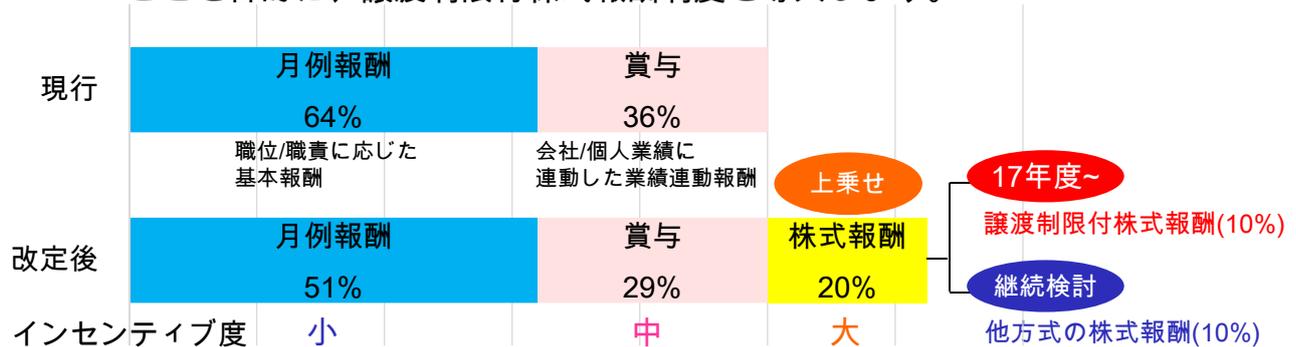
2. 役員への株式報酬制度の導入

持続的成長に向けて、

1. 中長期視点での成長戦略/構造改革への果敢な取り組みを促す

2. 企業価値(株価)の向上への意欲を高める

ことを目的に、譲渡制限付株式報酬制度を導入します。



Value by Connecting HTK



参考:四半期単体受注

年間で15年比10%増

単位:%

	1Q			2Q			3Q			4Q		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2016年度 前期比	+1			+16			-10			+7		
前年比	-2			+21			+7			+13		
2015年度 前期比	+3			-6			+2			+1		
前年比	-2			-7			-8			0		

※社内為替レートで算出(2016年10月から1\$=110→100円に変更)

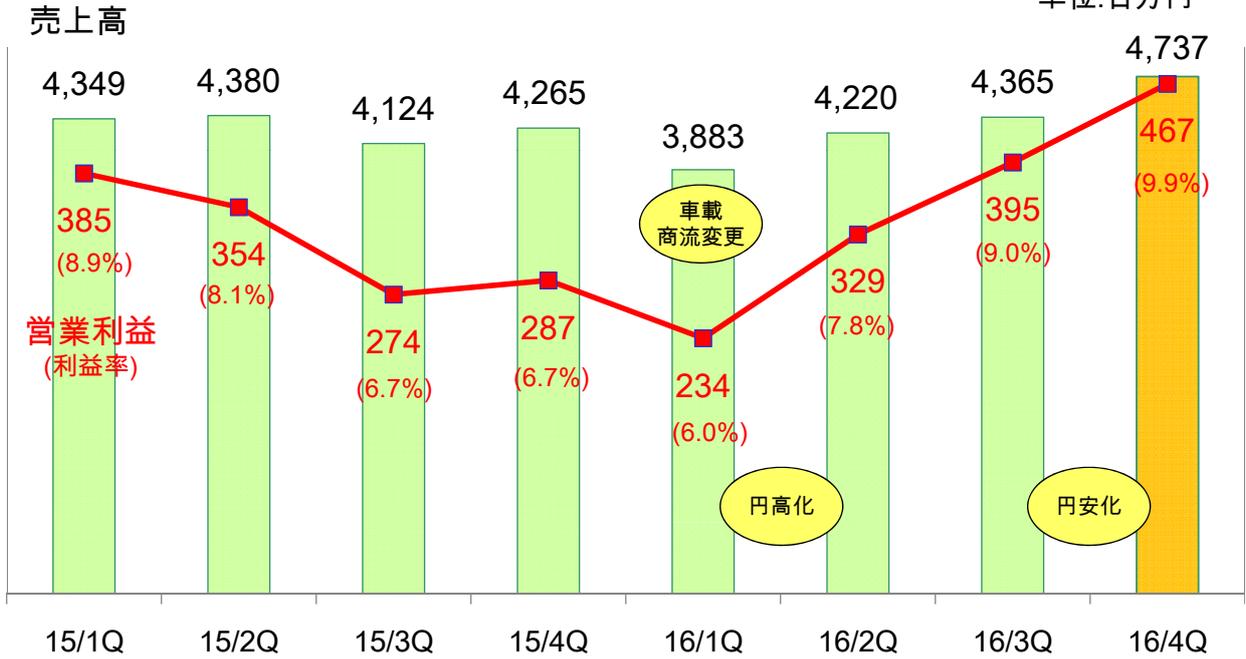
Value by Connecting HTK



参考:四半期業績推移

16/1Qを底にQtoQで3期連続の増収増益

単位:百万円



◆為替(期中平均)

1\$=121円 1\$=122円 1\$=122円 1\$=116円 1\$=108円 1\$=102円 1\$=109円 1\$=114円

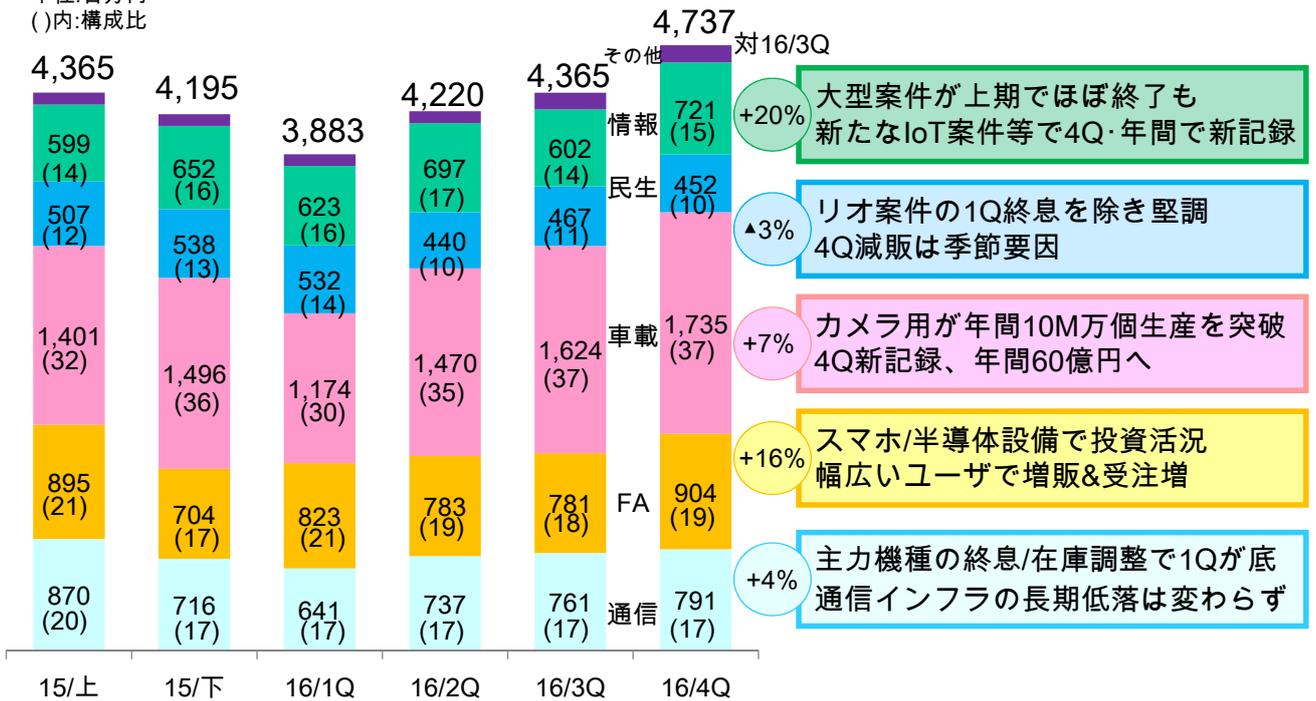
Value by Connecting HTK



参考:分野別 四半期売上推移

16/4Q:車載/情報システムが四半期新記録、FA/通信も伸長

単位:百万円
()内:構成比



Value by Connecting HTK